

運営

運営形態

現在の美術館と同様、効果的・効率的な管理運営と長期的な展望に立った運営を行うため、練馬区文化振興協会が担う指定管理者制度による運営を想定していますが、コンセプトの実現や、併設の図書館、新たに設置が想定されるカフェなどのサービス施設も含めて勘案し、最適な運営形態を整備と並行して検討します。



カフェレストランイメージ（東京都庭園美術館 café TEIEN）

運営体制

施設の拡張や、コンセプトの実現に向けて、スタッフを充実します。また、併設図書館との連携を図るための体制を構築します。



イメージ（国立新美術館）

収入の確保

観覧料収入や図録等の販売収入の増収、国や関係機関・団体等からの補助や助成の活用、クラウドファンディングなども活用した企業や団体、個人からの寄付や協賛、広告収入など、収入の確保に努めます。

開館時間

カフェなどのサービス施設の設置を想定しているため、サービス施設の営業時間を踏まえた美術館の開館時間の延長なども検討します。

ファン層の拡大

収蔵コレクションのデジタルアーカイブなどを活用した美術館の魅力の発信や、サポーター養成による美術館活動への参加、美術館友の会の設立など、様々な取組によりファン層を拡大します。